

年度別再生資源回収量

破碎選別工場
単位:トン

品目	年度	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度
鉄		1,051.76	1,221.82	1,476.05	1,746.64	1,765.64
アルミニウム		123.00	119.05	139.33	262.79	324.28
金属(鉄・アルミ以外)(4～7種類) ^{※1}		10.54	8.56	9.31	5.04	5.40
びん	カレット(9種) ^{※2}	2,337.34	2,280.92	2,201.46	2,050.85	2,161.66
	リターナブルびん ^{※3} (60種～37種)	95.66	91.88	89.91	85.77	93.54
ダンボール		806.87	871.70	1,014.61	1,351.06	1,735.89
新聞		310.63	279.25	282.58	705.28	740.61
雑誌・その他		547.04	584.89	696.51	1,401.25	1,462.87
古布		201.10	185.83	196.02	149.73	110.53
紙(牛乳)パック		3.50	2.47	2.17	1.29	2.33
小型家電		19.68	23.41	32.66	26.65	30.58
ペットボトル		198.88	192.98	198.72	205.43	233.63
廃食用油		4.38	5.23	5.94	6.53	5.82
廃蛍光管		28.38	27.85	28.51	25.27	25.19
廃乾電池		55.93	59.88	67.90	63.65	69.38
その他		9.42	7.70	7.50	5.91	7.18
合計(A)		5,804.11	5,963.42	6,449.18	8,093.14	8,774.53
工場処理量(B)		11,517.95	11,909.85	14,366.00	15,795.00	17,326.47
資源化率A/B(%)		50.39	50.07	44.89	51.24	50.64

※1 金属(鉄以外)は貯留量で搬出時期を決めるため、年度によって種類は増減します。

※2 カレットとは破碎した状態のガラスくずのこととしています。

※3 リターナブルびんとは、繰り返し使用できるびんのこととしています。

なお、リターナブルびんは、種類の減少により60～37種と変動しています。